

林 良介ゼネラルマネージャーより「大切にしたい思い・在り方」



就任にあたり、私の信念としています、利用者様の幸せにつながる職員の学びと在り方について述べさせていただきます。

このみずき福祉会では、どの職場でも同じように学べる、幸せに働くための6つのワードがあります。私は、そのワードこそがみずき福祉会の魅力であると考えています。そして、その魅力あふれる職場の在り方が、利用者様個々の幸せにつながっているのだと確信いたします。



- ①一番のやりがいは自分自身の成長を実感できること
- ②福祉の仕事は人生の様々なシーンを豊かにします
- ③フローな状態で仕事を続けるということ
- ④働きやすい職場環境がより良い人財に育てます。
そして、その人材が利用者様の幸せを築きます
- ⑤学びの文化が随所にあります
- ⑥福祉は未来課題の仕事です

①一番のやりがいは自分自身の成長を実感できること

みずき福祉会で働いていて、一番にやりがいを感じるのは、自分自身の成長が、利用者様への支援の向上に繋がることが実感できます。

みずき福祉会では、どの事業所においても、相手に喜んでいたたくために精一杯努力するスタッフの姿勢を大切にしています。

「尽くす」「貢献する」「応援する」ことは、人として生きる究極の目的であるのかもしれません。

自分が他人のために努力したことで感謝していただけた時、私達は本当に心の底からの感動を味わうことができます。

「尽くす」ことの本質はまさに生きることそのものなのではないでしょうか。それらはすべて、利用者様との関わりの中から学ばせていただきました。

「利用者様を支援している」つもりが実は私たちが成長させてもらっているのです。

③フローな状態で仕事を続けるということ

本当にご利用者の役に立ちたいと思ったら、役に立てるだけの知識と技術と経験を磨くことが大切ですが、いつも心をフローな状態で保てるかどうかとても重要です。

フロー（英: Flow）とは、人がそのときしていることに、前向きな気持ちで没頭でき、精力的に集中している感覚が得られている状態で、その過程において達成感と更なる行動意欲が盛んな精神的な状態をいいいます。

人の行動やパフォーマンスが心の状態の影響を受けるようになっている以上、心の在り方を切り替えるスキルを身に付け、フローな状態で仕事に携わることにより、最も良い結果を導けるのです。

みずき福祉会では、ストレスを感じネガティブな感情に陥りそうになったときに、それを切り替える脳の使い方を意識するように伝えています。例えば、言葉を変えるだけでストレスを解消し、自分の反応や感情を変えることができるのです。辛いと思ったときこそ「よかった！」、ピンチの時こそ「チャンス！」と言ってみるのです。すると脳の中で、「何がよかったんだろう？」「このことは、何のチャンスなんだろう？」と探し始め、心の状態が切り替わります。

⑤学びの文化が随所にあります

福祉の専門分野で学んだことだけが大切かと言ったら、そんなことはありません。どんな知識や経験も、人の幸せを実現する為に役立てることができます。他分野だから福祉に関係ないわけではなく、何らかの形で利用者様の支援に還元することができます。

また、知らないことがあることが恥ずかしいのではなく、知らないことがあることに気付いたのに、それを学ぼうとしないことが恥ずかしいのです。

みずき福祉会には、様々な分野の研修の機会があります。私たちは、質の高い支援をするために、人として成長できる「学び」を「喜び」としてとらえています。また、自ら学ぼうとする姿勢が、主体的に未来を切り開き創造していく、自立型人材への成長へつながっています。

②福祉の仕事は人生の様々なシーンを豊かにします

本人の思いを大切にした支援をしていく、障がい特性を理解した適切な支援をしていく、もっと命を輝かせる支援をしていく、幸せを創造していく、その為には常に自ら学んでいく姿勢が必要です。

そして、人の幸せの創造にかかわるからには「支援者自身が幸せであるべき」ということを福祉の仕事から教えてもらいました。

一人ひとりのスタッフの個性や特技、様々な経験が生み出すアイディアや豊かな発想が、日々の支援や業務に役立っています。また、福祉の仕事を通して学んだことが、家庭や日常の様々な場面でも役立ち、自らの人生をも豊かにしていく事を実感しています。その豊かさこそが、私たちスタッフの幸せではないでしょうか。

④働きやすい職場環境がより良い人財に育てます。

そして、その人材が利用者様の幸せを築きます

仕事をする上で重要なことの一つに、職場の人間関係があります。よりよいチームづくり、働きやすい職場環境づくりに必要な最初の一歩は、相手への見方をプラス視点に変えることです。利用者様、ご家族、仲間の支援スタッフのマイナス探しではなく、プラスの視点で見る、徹底して良いところを探し出すのです。

さらに、自分自身に対しても良いところを認め、プラスの視点で自分と向き合ってください。自分が今までやってきたことをマイナスの視点で見る癖があるとしたら、視点を変えて見つめ直してみましょう。

みずき福祉会では、感謝の気持ちを大切にしています。職場を良くしていく責任はまず自分にあると考え、自分に関わる人への感謝を見つけて「ありがとうございます。」との言葉を伝えるだけで、職場の人間関係がどんどん良くなっています。その上で、それぞれが今自分に何ができるのかを考え、提案し、お互いに肯定し合いながら、まずできることから行動を起こすことが重要です。

⑥福祉は未来課題の仕事です

福祉の仕事は特別な仕事ではありません。そして、幸せになるための基本が学べる素敵な仕事です。

ですが、現代社会において福祉はまだ未成熟で未来課題をたくさん抱えている分野であると言えます。

私達と一緒に、みずき福祉会で福祉の将来性を見つめ、この仕事の魅力をさらに高めていきましょう。福祉の仕事を面白く、豊かなものにしましょう。

人は面白いものほど一生懸命やりたくなり、その結果、支援方法などあらゆるレベルも進歩していくことでしょう。自分自身が夢を持ち、仕事を楽しんでやっていくことで、どんどん自分自身が成長していく姿を実感できます。

こうした職員の在り方を大切にして、私たち障害者福祉従事者は、福祉の仕事に誠実に取り組み、その魅力を発信し続けることで、福祉=幸せ、豊かさであると、社会的認識が得られるように努力し続けます。